2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名	株式会社ソラコム	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	147A	URL	https://soracom.com
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	玉川　憲
問合せ先責任者	（役職名） 執行役員CFO	（氏名）	山崎　紘彰　(TEL) 050(1720)8147
半期報告書提出予定日	2026年11月11日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　　（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		リカーリング収益		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	7,211	44.5	5,535	34.4	1,032	129.9	814	161.8	807	171.3	611	161.5
2026年３月期中間期	4,988	35.9	4,118	34.4	449	144.0	311	204.3	297	198.1	233	429.7

（注）包括利益　2027年３月期中間期　546百万円（ 153.7%）　2026年３月期中間期　215百万円（ －%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	13.36	13.01
2026年３月期中間期	5.17	5.02

（注）EBITDA=営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋株式報酬費用

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	15,763	12,466	74.8
2026年３月期	15,499	11,747	71.1

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　11,796百万円　　2026年３月期　11,026百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		リカーリング収益		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	15,124	21.7	11,421	22.8	1,758	43.1

	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,230	41.2	1,181	37.7	800	26.7	17.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　ー　　、除外　ー社（社名）　ー

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	45,919,034株	2026年３月期	45,579,505株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	30株	2026年３月期	30株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	45,760,263株	2026年３月期中間期	45,225,829株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

現在、あらゆるモノがインターネットにつながるIoT（Internet of Things）の活用は世界的に加速しており、労働力不足への対応や生産性向上、サステナビリティといった社会課題の解決手段として、その重要性は一層高まっています。また、生成AIの社会実装が急速に進む中、AIが現実世界のデータを活用するための基盤として、IoT通信への需要も拡大しております。このような環境のもと、「Making Things Happen - for a world that works together」を企業理念に掲げる当社グループが、AI/IoTコネクティビティプラットフォームとして果たすべき役割は、ますます大きくなるものと認識しております。

加えて、高性能なAIモデルを誰もが等しく活用できる時代になりつつある中、AIを使いこなす過程で蓄積される各企業ならではの知見やノウハウ（トークン資本）こそが、今後の企業の競争力を左右するものと考えております。当社グループは、お客様の知見・ノウハウの蓄積を支えるプラットフォームとして、フィジカルとデジタルの双方にわたる現実世界のデータを安全にAIへつなぐAI/IoTコネクティビティプラットフォームの機能強化と、AI活用を支えるサービスの拡充を継続的に推進しております。

当中間連結会計期間においては、７月に開催した年次カンファレンス「SORACOM Discovery 2026」において、IoTシステム開発をAIエージェントが支援するマネージドAIエージェント「SORACOM Agent」や、機器に組み込まれたIoT回線を柔軟に管理する機能、通信機能を搭載したクラウド型カメラ「ソラカメ」の新ラインナップなどを発表いたしました。また、当社が開発・運用してきたクラウドモバイルコア技術を通信事業者に提供する事業や、自動車業界向けパッケージの展開を発表するなど、新たな事業領域への取り組みも進めております。

この結果、当中間連結会計期間において、引き続き、課金アカウント数(注1)及びARPA(注2)が伸長し、リカーリング収益（プラットフォーム利用料）は5,535,616千円（前年同期比34.4%増）となりました。グループ全体の課金アカウント数は継続的に伸びて前年同期比11.5%増の1万1千アカウントとなり、ARPAは前年同期比20.5%増の1,032千円となりました。

グループ全体の契約回線数は７月に1,000万回線に到達しております。地域別には、国内では、家族向けの見守り用途や建設現場の遠隔管理など、お客様の現場でのIoT活用が広がり、回線数が増加しております。また、2025年８月より連結子会社化した株式会社ミソラコネクトの売上が、当中間連結会計期間を通じて寄与しております（前年同期は２か月分の計上）。米国・欧州において複数のお客様による利用が拡大し、海外においてもリカーリング収益が堅調に推移しております。

また、商品販売とその他の売上からなるインクリメンタル収益は、特に国内におけるデバイス販売が順調に推移したことにより1,675,714千円（前年同期比92.5%増）となりました。

米国・欧州を中心としたグローバル展開の広がりを受け、海外売上高比率は43.9%と引き続き高水準を維持しております。

売上総利益率は、相対的に利益率の低いデバイス販売の増加や、株式会社ミソラコネクトの売上構成比の上昇により前年同期を下回ったものの、売上総利益は増収により大きく増加しております。

販売費及び一般管理費については、株式会社ミソラコネクトの計上分（前年同期は２か月分）の増加に加え、売上好調に伴う賞与増や広告宣伝費の増加などにより、2,769,779千円（前年同期比19.0%増）となりました。賞与増の影響はあるものの、AI活用による効率化により人件費率は低下しており、売上高に対する販売費及び一般管理費比率は38.4%と前年同期比8.2pt改善しております。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は7,211,331千円（前年同期比44.5%増）、営業利益は814,528千円（前年同期比161.8%増）、経常利益は807,234千円（前年同期比171.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は611,198千円（前年同期比161.5%増）となりました。

（注１）課金アカウント数は、１か月の間にリカーリング収益が発生した口座数をいいます。同一の顧客企業等が部署や業務別に複数の口座を有する場合が含まれております。

（注２）Average Revenue Per Accountの略称。１課金アカウントあたりの平均リカーリング収益を示す指標を意味します。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比263,286千円増加の15,763,233千円となりまし

た。これは主に、デバイス販売や受託案件代金等の債権回収により売掛金及び契約資産が245,567千円減少し、現金及び預金が372,623千円増加したことによります。また、新サービスの開発及びプラットフォーム機能の強化に向けたソフトウエア開発によりソフトウエアが254,648千円増加しております。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末比455,375千円減少の3,296,840千円となりました。これは主に、前連結会計年度に前受けした開発案件等の売上計上により契約負債が324,242千円減少したこと、返済により長期借入金が124,998千円減少したことによるものです。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比718,662千円増加の12,466,393千円となりました。これは主に、新株予約権行使による資本金、資本剰余金の増加それぞれ96,876千円、親会社株主に帰属する中間純利益による増加611,198千円によるものです。

なお、新株予約権は、従業員に付与した新株予約権に係る株式報酬費用の計上により増加した一方で、新株予約権の行使に伴う資本金、資本剰余金への振替により減少し、21,489千円の減少となりました。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）については、前連結会計年度末比372,623千円増加の9,642,008千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は660,090千円（前年同期は199,470千円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益を804,033千円計上したほか、デバイス販売や受託案件等に係る債権回収による売上債権の減少231,213千円があった一方で、前連結会計年度に入金済みの開発案件等の売上計上による契約負債の減少322,915千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は270,509千円（前年同期は1,237,707千円の減少）となりました。これは主に、プラットフォーム機能の強化を目的としたソフトウエアの開発に伴う無形固定資産の取得による支出256,881千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は20,797千円（前年同期は86,612千円の減少）となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入151,264千円があった一方で、長期借入金の返済による支出124,998千円があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の業績動向等を踏まえ、2026年５月15日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年11月11日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,269,384	9,642,008
売掛金及び契約資産	2,312,269	2,066,701
商品	592,765	554,885
その他	695,232	627,369
貸倒引当金	△69,657	△76,730
流動資産合計	12,799,994	12,814,234
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	45,884	35,743
機械及び装置（純額）	355,730	333,293
その他（純額）	109,672	103,884
有形固定資産合計	511,287	472,920
無形固定資産		
ソフトウエア	711,362	966,011
ソフトウエア仮勘定	213,214	187,501
のれん	691,580	643,513
その他	115,952	170,674
無形固定資産合計	1,732,109	1,967,700
投資その他の資産		
投資有価証券	49,996	49,996
繰延税金資産	294,770	292,516
その他	321,768	335,009
貸倒引当金	△219,464	△174,814
投資その他の資産合計	447,071	502,709
固定資産合計	2,690,469	2,943,330
繰延資産		
株式交付費	9,483	5,667
繰延資産合計	9,483	5,667
資産合計	15,499,947	15,763,233

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	756,310	774,823
リース債務	12,034	10,432
契約負債	1,148,733	824,491
賞与引当金	188,467	158,722
株主優待引当金	493	1,727
未払法人税等	203,532	242,786
１年内返済予定の長期借入金	249,996	249,996
その他	653,234	628,465
流動負債合計	3,212,802	2,891,444
固定負債		
長期借入金	437,509	312,511
リース債務	67,918	58,087
資産除去債務	24,480	20,456
その他	9,506	14,340
固定負債合計	539,414	405,395
負債合計	3,752,216	3,296,840
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,851,859	2,948,735
資本剰余金	5,904,310	6,001,186
利益剰余金	1,964,571	2,575,769
自己株式	△42	△42
株主資本合計	10,720,698	11,525,648
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	305,657	270,352
その他の包括利益累計額合計	305,657	270,352
新株予約権	305,687	284,198
非支配株主持分	415,687	386,194
純資産合計	11,747,730	12,466,393
負債純資産合計	15,499,947	15,763,233

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	4,988,929	7,211,331
売上原価	2,350,948	3,627,023
売上総利益	2,637,981	3,584,308
販売費及び一般管理費	2,326,865	2,769,779
営業利益	311,115	814,528
営業外収益		
受取利息	7,682	12,216
その他	732	630
営業外収益合計	8,414	12,847
営業外費用		
支払利息	4,962	6,531
為替差損	12,735	8,714
株式交付費	4,328	4,494
その他	－	400
営業外費用合計	22,026	20,140
経常利益	297,503	807,234
特別損失		
固定資産除却損	－	3,201
特別損失合計	－	3,201
税金等調整前中間純利益	297,503	804,033
法人税、住民税及び事業税	74,656	216,826
法人税等調整額	6,758	5,502
法人税等合計	81,415	222,329
中間純利益	216,088	581,704
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△17,614	△29,493
親会社株主に帰属する中間純利益	233,702	611,198

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年９月30日)
中間純利益	216,088	581,704
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△697	△35,305
その他の包括利益合計	△697	△35,305
中間包括利益	215,391	546,399
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	233,005	575,892
非支配株主に係る中間包括利益	△17,614	△29,493

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	297,503	804,033
減価償却費	91,103	149,992
のれん償却額	18,459	48,067
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△122	7,359
受取利息	△7,682	△12,216
支払利息	4,962	6,531
為替差損益（△は益）	16,872	14,930
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	560,433	231,213
棚卸資産の増減額（△は増加）	△128,486	45,053
仕入債務の増減額（△は減少）	△579,863	23,320
株式報酬費用	28,622	20,320
賞与引当金の増減額（△は減少）	△17,642	△28,673
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△18,441	－
株主優待引当金の増減額（△は減少）	△1,082	1,233
契約負債の増減額（△は減少）	△93,699	△322,915
前渡金の増減額（△は増加）	54,722	3,004
その他	△18,023	△178,290
小計	207,635	812,965
利息及び配当金の受取額	7,682	12,216
利息の支払額	△3,073	△3,931
法人税等の支払額	△12,773	△161,160
営業活動によるキャッシュ・フロー	199,470	660,090
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,529	△15,107
無形固定資産の取得による支出	△241,138	△256,881
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△990,555	－
その他	△483	1,479
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,237,707	△270,509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△124,998	△124,998
リース債務の返済による支出	△6,525	△5,468
新株予約権の行使による株式の発行による収入	44,911	151,264
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,612	20,797
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,047	△37,755
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,146,896	372,623
現金及び現金同等物の期首残高	8,917,773	9,269,384
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,770,876	9,642,008

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、AI/IoTプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。